

修了評価の方法

評価基準作成者：渡壁 瑞枝

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 ・筆記試験：四肢（又は三肢）択一選択形式 穴埋め問題形式（語句選択式）</p> <p>3 出題数 ・択一選択問題…19問（配点：1問5点） ・穴埋め形式問題…1問（配点：1問5点）</p> <p>4 合否判定基準 ・60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い ・不合格者に関しては、直ちに再指導及び補習等を行い、再評価を実施する。 講師による補習費用：20,000円（税込）</p> <p>・再評価は、最大3回のみとし、最終試験の結果、不合格となった者は、未修了扱いとなるため注意すること。</p>
------------	--